

2017年度 活用論文・実践記録集 Vol.20 原稿募集のご案内

日本交流分析協会関西支部 支部長 中嶋宗一
論文支援委員会 委員長 山本昭一

2016年度関西支部は支部設立20周年を迎え、「活用論文・実践記録集」第19巻を発行しました。今まで「活用論文集」に投稿された方々はこのべ162名となり、関西支部や全国で活躍されています。その輝かしい伝統を継承しつつ、「論文合評会」も継続して開催できました。

今年は「TA 実践研究」に投稿される皆さんを支援する「投稿論文勉強会（4月開催）」を新たに開催し、歴史を刻んでいきたいと考えています。

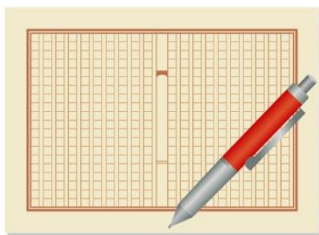


論文作成は「実践記録」から始まります。実践記録は、交流分析を活用している自分史です。活用論文・実践記録集は、それらをまとめて形にした貴重な資料です。交流分析をより深く理解し、実践していこうという皆さんの投稿をお待ちしています。

具体的には、まとめてみようと考えておられる論文・実践の「テーマ」をお知らせください。B5のテンプレート（タイトル部分と本文2段組）をお送りします。

（メールで申し込んでいただいた方には、添付ファイルでそのまま書き込めば良いものを送ります）

また、上位資格（教授・准教授）の取得を目指しておられる方は、□に「✓」をご記入ください。論文支援委員会が応援させていただきます。どうぞ、お気軽にご相談ください。



記

募集対象 関西支部会員（資格は問いません）

※交流分析を活用している経験を、実践記録・活用論文にまとめてみようという会員

投稿締切日 2017年5月8日（月）〔余裕をもった原稿の作成をお願いします〕

投稿の範囲 交流分析の実践及び研究、周辺理論の心理学等も含まれます。

投稿文字数 B5サイズ10ページ以内（Word原稿を事務局にメールでお送りください）

テーマ提出 投稿を考えておられる方は、テーマと氏名を事務局にお知らせください。

※申込者には、テンプレート（文字見出しゴチック11p 本文明朝10.5p 英数字Century）を送ります。

申し込み（関西支部事務局 FAX.06-6375-1002 または メール：info@takan31.com）

お名前		連絡	()
メール	@	会員資格	
仮テーマ			<input type="checkbox"/> 上位資格取得希望

※いただいた個人情報は、活用論文・実践記録集の連絡以外には使用いたしません。